

事後評価調書

I 事業概要						
事業名	街路事業					
地区名	都市計画道路 <small>ひがしやまいわふじ</small> 東山岩藤線 <small>いしがね</small> (石兼工区)					
事業箇所	日進市 <small>かぐやま</small> 香久山～日進市 <small>いわさきちょう</small> 岩崎町					
事業のあらまし	<p>都市計画道路東山岩藤線は、名古屋市と日進市を結ぶ幹線道路であり、本事業区間の東側では、組合施行による日進竹の山南部特定土地区画整理事業が行われており、周辺市街地の生活交通の基軸となっている重要な道路である。</p> <p>本事業区間は、車道幅員が狭小であり、交通の円滑化が図られていない状況であり、歩道が片側しかなく歩行者の安全性の確保が求められていた。</p> <p>このため、「日進市北部の市街地内の交通の円滑化」、「安全な歩行空間の確保」を主な目的として、現道拡幅を実施したものである。</p> <p>本事業区間については、2003 年度に事業着手し、2019 年 3 月に全線での拡幅工事を完了させた。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>①日進市北部の市街地内の交通の円滑化</p> <p>②安全な歩行空間の確保</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
事業費	事業費	内訳				
	10.0 億円	□工事費 2.6 億円、□用補費 6.6 億円、□その他 0.8 億円				
事業期間	採択年度	2003 年度	着工年度	2003 年度	完成年度	2018 年度
事業内容	<p>現道拡幅</p> <p>延長：L=1,019m、幅員：W=16m (2車線)</p>					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>①日進市北部の市街地内の交通の円滑化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該事業により、現道の拡幅や歩道が整備されたため、歩行者と車両の通行空間が分離され、交通の円滑化が図られた。 ・当該路線の交通量は 9,891 台／日 (H27 道路交通センサス) であったが、整備後は 10,637 台／日 (R5 交通量調査) に増加した。交通量は増加したものの、混雑度はいずれも 0.83 (H27 道路交通センサス、R5 交通量調査) と変化が見られないことから、当該路線の整備による交通の円滑化が確認できる。 ・自転車・歩行者交通量は、自転車 136 台／12h、歩行者 199 人／12h (H27 道路交通センサス) に対し、整備後は、自転車 390 台／12h、歩行者 478 人／12h (R5 交通量調査) となり、周辺人口の増加に伴う影響もあるが、広い歩道が整備されて歩行者が安全な歩道空間を利用できるようになった。 <p>②安全な歩行空間の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該事業により、歩道が整備されたことで、歩行者の安全性が向上した。 ・当該路線は小学校の通学路に指定されている。近隣の小学校へのヒアリングの結果、広い歩道が整備されて児童が安全に通学できるようになった、との意見があった。 <p>【達成状況に対する評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業により、安全で円滑な走行空間・歩行空間が確保されており、事業目標は達成している。 				

	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>—</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>—</p>
Ⅲ 対応方針		
今後の事後評価の必要性	事業目標を達成しており、事業の有効性が認められたため、今後の事後評価の必要性はないものとする。	
改善措置の必要性	事業目標に対する効果が十分に発現しており、新たな課題も見られないため、改善措置の必要性はないものとする。	
同種事業に反映すべき事項	標準的な事業計画、工法、施工プロセスで施工されているため、同種事業に反映すべき事項は特になし。	